

コンクリート技士研修会 参加報告

山口 貴幸 環境建設技術分野

1. はじめに

コンクリート分野では、研究・技術開発・経験の蓄積が盛んに行われており、日々進歩している。コンクリート関連の資格はいくつかあるが、資格取得のための勉強によって一時的に幅広い知識が身に付くものの、日常業務で接する内容以外については、変化について行けないことが常になってしまっている。そのような現実を鑑み、コンクリート技士の資格を保有している者については、4年に1度この研修を受講することが義務付けられている。受講しない場合、コンクリート技士という称号を使用することができなくなる。私のこの資格の有効期限は2014年3月末であり、更新のためには、今回受講する必要があった。また、4年前の資格取得時には身に付いていたことも、徐々に忘れてしまっていることを感じ、この機会にコンクリート技士としての知識を取り戻し、新たな技術を取り入れるべく、研修会に参加した。開催日は平成25年7月17日、開催場所は新潟東映ホテルであった。

2. 研修会の内容

この研修会は、「コンクリート技士」有資格者

向けに、最新の技術動向を含めたコンクリートの知識を修得することを目的として、社団法人日本コンクリート工学協会の主催により毎年行われている。最新の関連規格・指針の情報や、最新技術・新開発材料に関する情報を得ることができるため、コンクリートに関わる業務を行う上で必須の内容である。写真-1に研修会の様子、表-1に研修会プログラムを示す。

内容は、最初に専門知識自己診断テストを行い、受験時の知識を失っていることを自覚させ、そのあとに材料系・土木系・建築系に分けて講習する、というものであった。各分野の内容は、最近の基準の改正、主な技術動向、近年の大規模地震による被害の解説などであった。

3. 研修会を終えて

この研修会を受講し、基準改正の情報、新しい工法についての情報を得ることができた。また、分かっていたはずの知識を忘れていたことにも気づかされた。このような研修会に参加するだけでなく、関連書籍等からの情報収集や基礎知識の復習を、日頃から取り組まなければならないと感じた。



写真-1 研修会の様子

表-1 研修会プログラム

時間	内容
9:25 ~ 9:30	挨拶
9:30 ~ 10:15	自己診断テスト
10:30 ~ 11:55	材料系
12:50 ~ 14:15	土木系
14:35 ~ 16:00	建築系